

つなぐながれ広がる

NPOの輪

〈市民公益活動団体リレートーク⑦〉

NPO法人 エコ・スタディいさわ

「子どもたちにふるさとの自然や環境、歴史、文化を体験をとおして知ってもらい、そのすばらしさに誇りを持った人になってほしい」

その思いから始まった「エコ・スタディいさわ」は、胆沢区に在住する7人の元教職員が中心となり設立されました。

平成12年に団体を立ち上げ、14年にはNPO法人に認証されています。学校週5日制が完全実施され、家庭や地域との連携を密にし、子どもたちの健全育成のため、自分たちができることはないかという有志からの呼び掛けでした。

現在は15人で活動しており、「親子で一緒に自然体験学習」を合言葉

に水の森楽園を月1回開催しています。昨年11月には活動回数が100回を超えました。

春は新緑の森を歩き、夏は川遊び、秋は胆沢扇状地の散策。冬は郷土料理づくりやかんじきを履いた自然観察で、自然や文化を満喫しています。

21年度には市の0.4%支援事業を活用して、郷土にまつわる民話を元に紙芝居を作成。幼稚園や公民館に出向き、読み聞かせを行いました。22年度には、国指定遺跡の清水上遺跡で当時の生活を体験させる縄文土器の野焼きにも挑戦しました。教職員時代の専門分野を生かした教育相談に応じるなど、活動は多岐にわたっています。

こうした実践活動が認められて、

19年には(社)「小さな親切」運動本部より「小さな親切実行章」を、21年には内閣府から「社会参加活動実行賞」を受賞しています。

「このような活動をとおして、親子や子ども同士の『きずな』が、たくましいものとなればと思っています」村上英明前理事長は、活動への思いをこう言葉にします。

生活が豊かになるにつれて、私たちが忘れがちになっている自然や文化、人間同士のつながりの大切さ。水の森楽園の活動は、それらに触れることで、大切なことを思い起こさせてくれます。新緑の萌ゆるこの季節。あなたも水の森楽園に参加して、大切なことを再確認してみませんか。

■NPO法人 エコ・スタディいさわ (胆沢ダム学習館内 ☎2501)



4月23日 水の森楽園で、キノコの植菌に参加した皆さん

interview



NPO法人エコ・スタディいさわ
理事長
千葉嘉彦さん (72)

生物多様性が叫ばれている今、子どもたちに自然の生態系や地域の文化を学んでもらえればと思います。水の森楽園では参加者から逆に教わることも多く、自分たちのためにもなります。今後の課題は、現役を引退した世代にも郷土の自然、歴史・文化を知ってもらえればと思います。



水の森楽園の参加者
南都田中学校1年生
伊藤翔さん (12)

小学2年生からおばあさんと一緒に毎回参加しています。自然と触れ合えて、生態系や自然の大切さが学べました。郷土の自然を遊びをとおして学べるのが魅力です。今までで一番の思い出は、野焼きでの土器作りです。中学校ではプラスバンド部ですが、今後も参加したいと思っています。

昨年7月の夏の山楽校 自然観察会



NPO 伝言板

市内のNPO活動をお知らせします。情報の掲載を希望する場合は、市民活動支援センター (☎2501) までお問い合わせください。

●第105回 水の森楽園 新緑の緑 散策会

日時：5月29日 午前9時～午後5時
場所：胆沢ダム学習館とその周辺
内容：大荒沢のブナ原生林やタモノキ沢のニレの芽吹きを見に行きませんか
参加料：子ども200円、大人500円
持ち物：山道を散策できる服装、昼食、飲物は各自持参
申込期限：5月20日
主催：NPO法人エコ・スタディいさわ
問い合わせ：胆沢ダム学習館 (☎2501)

●がん患者と家族の語り合いの集い

日時：毎月第3回 午後1時半～午後4時
場所：市民活動支援センター
内容：がん患者、家族支援者が集まり語り合います。
問い合わせ・申込先：奥州かたくりの会 (市民活動支援センター内 ☎4200)

●多重債務についての相談会

日時：毎月第1・第3回 午後6時半～午後7時
場所：市民活動支援センター
内容：多重債務についての無料相談会です。直接会場にお越しください。
※予約不要
問い合わせ：岩手・みちのく道場 浅田 (☎080-2808-4060)

NPOとは…市民公益活動団体のこと。NPO法人やボランティア団体など「公益的な活動を、自発的に継続して行う民間非営利組織」の総称です